



グローバル人材を育てる日本人学校に 校長 櫻田 弘道

10月19日から3日間、中国杭州日本人学校（児童生徒数50名）で行われた東アジア大洋州校長会議に参加致しました。世界には89の日本人学校があり、この東アジア大洋州には半数近い39校があります。バンコクやジャカルタのように1000人を超える大規模校から、本校のように20名をきる小規模校まであります。（本校は9月の在籍数では東アジアで2番目に小さな学校でした。）会議では各校が抱えている諸課題（安全、教育課程、児童数減と財政の問題など）が話し合われましたが、中でも海外でどのように子供たちに力をつけていくかが一番のテーマでした。昨今、日本（国内）では「グローバル人材」育成が叫ばれ、日本人学校はその最先端にあるといわれます。海外で暮らし学んでいるのですから当然といえますが、そこで大切なのは「英語を話せるようになる」「外国の文化を知る」などの外への意識と、「日本人としてのアイデンティティ育成」などの内への意識をどう両立していくかではないかと思えます。グローバル人材＝英語力のように言われることもありますが、世界の中で信頼される日本人として活躍するには、まず確かな自分があることが大切です。日本人なのですから、日本のことをよく知り、日本の素晴らしい文化・習慣を身に着けておくことがとても重要です。そのうえで、コミュニケーションの大切なツールとして英語を学び、他国の人たちとつながっていくことになります。バンドン日本人学校は、日本人の素養をしっかりと身につけ、また、直に異文化に接する機会と小規模校の利点を生かし、グローバルに物事を考え、行動できる子供たちを育てていきたいと思えます。今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願い致します。



参観した杭州での少人数学習

2年に1度の大行事、5年生以上の9人は3泊4日、バリ島への修学旅行に行ってきました。1日目はマングローブ散策、ウルワツ寺院とケチャダンスの見学、シンバランの海岸での夕食。2日目はウブドでのラフティングとバリダンス・ガムランの文化体験。3日目はレンボンガン島での自然体験、というのが主な活動でした。一番心に残っているのは？と聞くと、ラフティング、ケチャ見学、バナナボートで海に落ちたこと、友だちと部屋で過ごしたことなど様々でしたが、子どもたちにとってとても心に残る4日間だったようです。そこでの感動は学習発表会で発表することになっています。映像あり実演ありと工夫した発表を考えているようです。皆さんと一緒に子供たちがバリで感じた感動を一緒に楽しみたいと思えます。

楽しかった修学旅行！感動の様子は学習発表会で！

2年に1度の大行事、5年生以上の9人は3泊4日、バリ島への修学旅行に行ってきました。1日目はマングローブ散策、ウルワツ寺院とケチャダンスの見学、シンバランの海岸での夕食。2日目はウブドでのラフティングとバリダンス・ガムランの文化体験。3日目はレンボンガン島での自然体験、というのが主な活動でした。一番心に残っているのは？と聞くと、ラフティング、ケチャ見学、バナナボートで海に落ちたこと、友だちと部屋で過ごしたことなど様々でしたが、子どもたちにとってとても心に残る4日間だったようです。そこでの感動は学習発表会で発表することになっています。映像あり実演ありと工夫した発表を考えているようです。皆さんと一緒に子供たちがバリで感じた感動を一緒に楽しみたいと思えます。



1～4年生はJJSへオースタムスクール！

修学旅行期間中の1日を使って、1～4年生はジャカルタ日本人学校へ交流学习に出かけてきました。普段の少人数とは違い大勢で学ぶことに最初はびっくり・・・しかし、サマースクールでできた友達が声をかけてくれるなどすぐに慣れてとても楽しく過ごすことができました。1日と短い時間でしたが貴重な経験ができました。



11月の主な予定

12日 登校日（学習発表会準備）	14,15日 振替休日	23日 水泳
13日 学習発表会	16日 水泳	30日 水泳
	21日 読書週間	

